

国立がん研究センター研究開発費 2020-J-3
「成人固形がんに対する標準治療確立のための基盤研究」班

JCOG2003A

JCOG0205「Stage III の治癒切除大腸癌に対する術後補助化学療法としての 5-FU+I-LV 静注併用療法と UFT+LV 錠
経口併用療法とのランダム化第 III 相比較臨床試験」

JCOG0404「進行大腸がんに対する腹腔鏡下手術と開腹手術の根治性に関するランダム化比較試験」

JCOG0910「Stage III 治癒切除大腸癌に対する術後補助化学療法としての Capecitabine 療法と S-1 療法とのランダム
化第 III 相比較臨床試験」

JCOG1006「大腸癌切除における適切な切除手順に関するランダム化比較試験」
の附随研究

切除可能大腸癌の腫瘍占居部位が予後に与える影響を探索する

統合解析研究計画書 ver. 1.0

**The impact of primary tumor location on oncologic outcomes
for resectable colorectal cancer.**

グループ代表者: 金光 幸秀

国立がん研究センター中央病院 大腸外科

研究代表者: 金光 幸秀

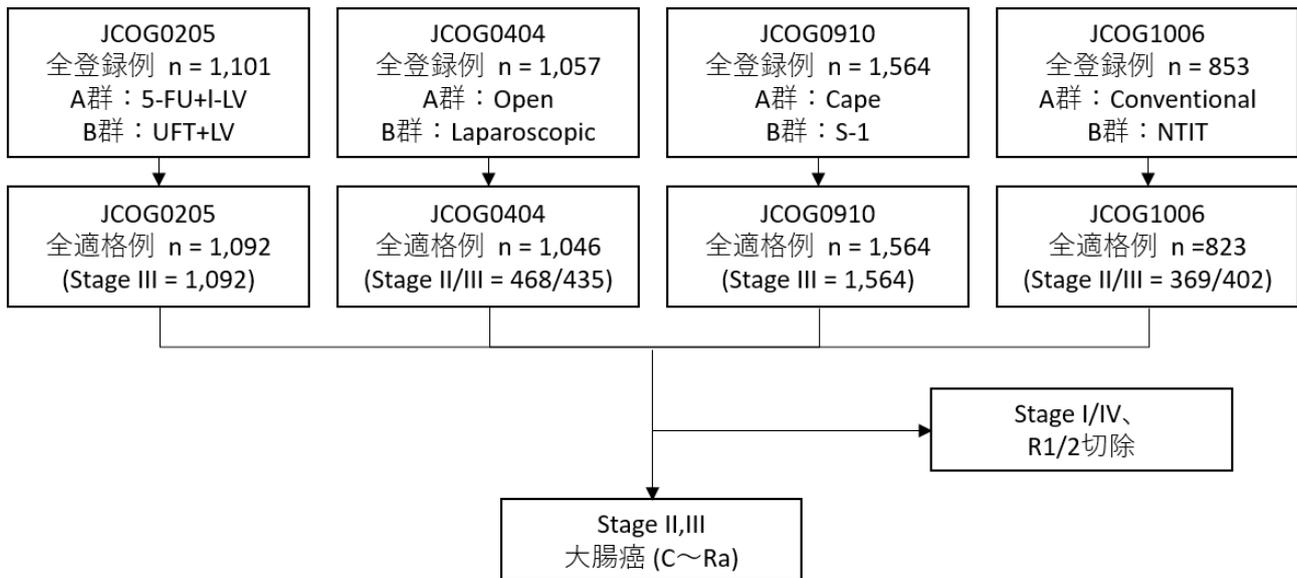
国立がん研究センター中央病院 大腸外科
〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

研究事務局: 大内 晶

愛知県がんセンター 消化器外科部
〒464-8681 愛知県名古屋市千種区鹿子殿 1-1

0. 概要

0.1. シェーマ



主たる解析:手術日を起点とした全生存期間、疾患特異的生存期間、無再発生存期間

探索的解析:再発日を起点とした全生存期間、疾患特異的生存期間

0.2. 目的

根治的な大腸切除術が行われた Stage II-III 大腸癌 (C~Ra) 患者を対象として、腫瘍占居部位が大腸癌の予後に与える影響を探索する。

0.3. 対象

JCOG 大腸グループで実施された以下の 4 試験に登録された全適格例のうち、Stage I、Stage IV、R1/2 切除の患者を除いた Stage II-III 大腸癌 (C~Ra) 根治切除患者を対象とする。

- JCOG0205「Stage III の治癒切除大腸癌に対する術後補助化学療法としての 5-FU+I-LV 静注併用療法と UFT+LV 錠経口併用療法とのランダム化第 III 相比較臨床試験」
- JCOG0404「進行大腸がんに対する腹腔鏡下手術と開腹手術の根治性に関するランダム化比較試験」
- JCOG0910「Stage III 治癒切除大腸癌に対する術後補助化学療法としての Capecitabine 療法と S-1 療法とのランダム化第 III 相比較臨床試験」
- JCOG1006「大腸癌切除における適切な切除手順に関するランダム化比較試験」

0.4. 方法

対象患者を腫瘍占居部位でグループ化し、UICC-TNM 分類第 8 版の Stage 分類 (II、III) および Stage 細分類 (IIA、IIB、IIC、IIIA、IIIB、IIIC) ごとに全生存期間、疾患特異的生存期間、無再発生存期間を比較する。

解析には、JCOG データセンターで保管している既存データを使用する。

0.5. 研究期間

研究期間: 研究許可日から 2023 年 3 月 31 日まで

0.6. 問い合わせ先

研究事務局: 大内 晶

愛知県がんセンター 消化器外科部

〒464-8681 愛知県名古屋市千種区鹿子殿 1-1